様式１６　情勢報告（各月の動き毎月２５日までに報告

情勢報告（平成２５年５月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

ＪＡ土佐くろしおピーマン部会　現地検討会

ＪＡ土佐くろしおピーマン部会の現地検討会が５月８日に開催され、８名の生産者が参加しました。

振興センターからは、ＩＰＭ実証ほの天敵・病害虫の密度推移や天敵バンカーの取り組みの紹介、仕立て試験の結果などについて報告しました。今年は、ＩＰＭ実証ほの土着天敵タバコカスミカメの定着が良く、作の後半まで害虫の密度を非常に低く抑えるなど、上手く利用するめどが立ち、未導入の農家も関心を寄せているようでした。また、今回はＪＡ販売課も参加し、販売概況や出荷状況について情報提供が行われました。

今後、ＩＰＭについてはマニュアルの改訂を行い、さらに省力かつ安定的なものとなるように支援を行っていきます。

平成２５年度「営農みらい塾」入講証書授与

５月２日、ＪＡ津野山営農センター輝において、「営農みらい塾」運営協議会（津野町、梼原町、ＪＡ津野山、須崎農振）が開催されました。

会では、平成２４年度の運営状況並びに今年度の研修生受入、研修計画等についての協議の後、平成２５年度「営農みらい塾」入講式が行われました。この研修生は、県外からの２０代のＩターン青年で、「津野町で園芸品目を栽培し、町の園芸を広く町外へ情報発信したい」と将来の目標を持っています。また、研修品目の米ナス以外の園芸品目についても積極的にみていきたいとのことです。

振興センターは、関係機関と連携して、今後も地域の農業担い手育成を担う「営農みらい塾」の運営を支援していきます。

ＪＡ津野山ミョウガ部会　現地検討会

ＪＡ津野山ミョウガ部会の現地検討会が、4 月 30 日に養液栽培と土耕栽培の 2 会場で開催され、のべ 18 戸の農家が参加しました。

振興センターからは、ハウス内の適正な環境制御、給液・かん水管理等について、具体的なデータを用いて話題提供しました。参加者は、現在の天窓やカーテンの開け方などの具体的な管理内容について意見交換をしていました。

今後も振興センターは、津野山地域のハウス事情に応じた環境制御技術の組立てを部会と一緒に検討していきたいと考えています。

ＪＡ土佐くろしおミョウガ部会　循環型養液栽培システム現地検討会

ＪＡ土佐くろしおミョウガ部会では、5 月 16 日に運営委員を対象として、循環型養液栽培システムの現地検討会を開催しました。

ＪＡ土佐くろしおでは平成 24 年から、Ａ社と合同で 2 種類の循環型養液栽培システムの開発に取り組んでいます。検討会では、Ａｇ殺菌タイプ、バイオタイプ、それぞれのシステムの説明の後、病害抑制効果や肥料費の節減効果等、活発な意見交換がなされていました。

振興センターは、部会や関係機関と連携し情報収集を続けます。